

教授会議事録

日時：平成28年11月8日（火）14時05分から15時50分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、人事異動者から挨拶があった後、議長から、人事異動について報告があった。

前回議事録の確認

平成28年10月11日（火）開催の定例教授会議事録について承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

議長から、10月18日（火）開催の部局長連絡会議について、配付資料により下記事項について報告があった。

- ① 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）
- ② 平成28年人事院勧告に伴う本学役職員の給与の取扱方針（案）
- ③ 12月期勤勉手当及び1月1日昇給の勤務成績優秀者の推薦
- ④ 教員の出勤簿等のシステム化
- ⑤ 情報セキュリティ対策基本計画の策定
- ⑥ 東北大学感謝状贈呈制度
- ⑦ 承継枠年俸制度適用状況

(2) 研究所長会議

議長から、以下のとおり報告があった。

- ① 来年の片平まつりにおいて、附置研・センター長会議第1部会主催のシンポジウムが同時開催となることが承認されたこと。
- ② 研究所の若手研究者のアクティビティを上げるための施策を議論したこと。

(3) 研究推進本部運営委員会

議長から、配付資料により以下のとおり報告があった。

- ① 軍事・国防関係機関からの公募への応募申請について
- ② 学際研究重点拠点に係る社会にインパクトある研究の認定について

2. 運営会議等報告

(1) 将来計画委員会

IT21センターの見直しに伴い、来年度以降の課題等について現状認識と検討方針を確認し、同センターのあり方について検討しているとの報告があった。

(2) 研究企画委員会

以下のとおり報告があった。

- ①科学研究費助成事業について、申請件数が新規・継続併せて100件となり、例年比約10%増となったこと。
- ②学振特別研究員が来年度新規4件の採用となり合計9名となること。

(3) 安全衛生委員会及び安全衛生管理室

以下のとおり報告があった。

- ①巡視結果等、健康診断結果、定例議題について審議・報告があったこと。
- ②長時間勤務について該当はなかったこと。
- ③通研BCP（防災・業務継続計画）について審議を行ったこと。
- ④ストレスチェックの回答集計の結果、回答率は70%以上で部局毎の平均以上であったこと。

(4) 学部教務委員会

下記事項について配付資料により報告があった。

- ①シラバスの概要について
- ②出張講義等について
- ③研究室見学会の実施方法について
- ④ガイダンス・オリエンテーション日程について
- ⑤平成29年度工学セミナーグループ編成について
- ⑥アドバイザー担当教員について（平成29年度：堀尾教授、本間教授、平野教授）
- ⑦ジャンル2・レベル認定試験について
- ⑧早期卒業候補者の選出方法の変更について

(5) 産学連携推進室

下記事項について配付資料により報告があった。

- ①学内外の関係機関との産学連携推進
- ②プロジェクト研究等の企画・立案支援
- ③競争的資金獲得支援
- ④プロジェクト運営支援
- ⑤IR (Institutional Research) 活動
- ⑥その他

(6) 広報室

ホームページの運用について意見があればお寄せいただきたいこと、また、本研究所の日々の活動を紹介するための画像、動画等があれば提供いただきたいとの発言があった。

3. その他

(1) 共同プロジェクト研究発表会について

共同プロジェクト研究発表会プログラムについて配付資料により報告があった。

(2) 共同プロジェクト研究の電子申請システムの作成について

共同プロジェクト研究の電子申請システムの概要について、配付資料により報告があった。なお、日本語が使えない方の申請について、英語版ができるまでは従来どおり紙ベースでの申請を受け付けることとした。また、英語版の作成に当たっては、関連委員会等と協力し検討することとした。

(3) 職員及び学生の受賞について

議長から、職員及び学生の受賞について、配付資料により説明があった。

(4) プレスリリースについて

プレスリリースについて、配付資料により説明があった。

(5) 民間等との共同研究の受入について

議長から、民間等との共同研究の受入について、配付資料により説明があった。

(6) 運営協議会コメントへの対応

運営協議会コメントへの対応状況・回答文案について前回教授会での議論を踏まえた資料により説明があり、今後は当日の資料を作成する観点から、整合性などを更に検討していくとの発言があった。

(7) 若手海外派遣制度について

以下のとおり報告があった。

①応募者について現在検討中であること。

②来年度以降の海外渡航を希望する場合の募集は、年末を締切とし通知する予定であり、希望者には声かけをお願いしたいこと。

また、議長から、全学においても、研究大学強化促進事業での若手教員の海外派遣募集があるので、通知があった際には一読願いたい旨発言があった。

(8) 雇用と謝金の今後の事務手続きについて

事務長から、雇用と謝金の今後の事務手続きについて配付資料により説明があった。

(9) 研究大学強化促進事業実施委員会

研究大学強化促進事業において、若手リーダー研修者海外派遣プログラムの公募を開始するとの報告があり、公募内容について説明があった。

II. 協議事項

1. 第32回運営協議会について

議長から、12月9日（金）に開催予定の第32回運営協議会について、議事次第、委員について資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 平成29年度外国人研究員（客員部門）候補者について

議長から、平成29年度外国人研究員（客員部門）候補者について、配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、各人に相当する客員の称号付与について、併せてこれを承認した。

3. 平成28年度外国人研究員（客員部門）について

平成28年度外国人研究員（客員部門）客員准教授について、本務先において教授に昇任した旨配付資料により説明があった後、本学において客員教授の称号を付与することについて提案があり、審議の結果、これを承認した。

4. 学術交流協定について

カイザースラウテルン工科大学（ドイツ）との大学間学術交流協定の更新について提案があった後、から当該協定の概要等について配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 機動的な研究グループの申請について

機動的な研究グループ設置の申請について提案があり、本間教授から配付資料により設置申請の概要について説明があった後、審議の結果、これを承認し、12月1日から設置することとした。

6. 所長候補者選挙について

所長候補者選挙WG報告について配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 指定国立大学法人について

議長から、国立大学法人法の一部を改正する法律が施行されたことによる指定国立大学法人の認定について、以下のとおり報告があった。

- (1) 今月中に公募要領が発表され来年3月末の応募締切となること。
- (2) 予算規模は30億円程度、認定は5～10校が見込まれること。
- (3) この制度は補助金ではなく法改正による指定であり、認定の有無により今後の本学の活動に非常に大きな影響を及ぼすものであり、絶対に指定を取らなければならないとの認識であること。

8. 研究データ保管・管理ルールについて

研究データ等の保存及び管理に関する内規について、前回の議論等を踏まえ作成した本研究所の内規（案）及び今後のスケジュールについて配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

9. その他

- (1) 平成29年度大学入試センター試験監督者の割り当てについて

議長から、平成29年度大学入試センター試験監督者割り当てについて、資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

(2) 平成29年度通研公開実行委員長について

平成29年度通研公開実行委員長の選出について提案があり、審議の結果、同委員長を選出した。

(3) 通研BCPについて

通研BCP（防災・業務継続計画）について配付資料により説明があり、意見があればお寄せいただきたいとの発言があった。なお、これについては更に検討を進め次回教授会において再度これを諮り、今年度中に作成のうえ来年度から運用していくこと、また、適宜更新をしていくとの付言があった。

(4) 科学研究費助成事業の申請について

科学研究費助成事業の申請について、種目別の申請・採択の実績データを開示してほしいとの意見があり、これについては、研究企画委員会において検討することとした。

III. その他

1. その他

(1) 平成29年度通研国際シンポジウム開催予定一覧について

平成29年度通研国際シンポジウム開催予定について第1回目の調査を行う旨、資料により説明があった。また、第2回として来年2月頃の実施を予定しているとの報告があった。

(2) 仙台フォーラム2016について

仙台フォーラム2016について、配付資料（ポスター）により準備を進めており、企業等多方面への参加依頼をお願いしたいとの発言があった。

(3) RIEC Awardについて

RIEC Awardの選考状況について、審査委員会、授賞委員会を経て、現在、電気通信工学振興会理事会に附議されており、この議を経て最終決定となり、仙台フォーラム2016で表彰式を行うとの報告があった。

また、次年度以降もレベルの高いものとなるよう応募者の発掘に協力願いたいとの付言があった。

(5) 防災訓練について

本部事務機構の防災訓練が12月2日（金）に実施予定であり、本研究所は通報訓練及び安否情報登録訓練に参画するとの報告があり、安否情報登録訓練にかかるメールの返信に協力願いたいことの発言があった。なお、避難訓練については別途検討中であるとの付言があった。

(6) 通研国際シンポジウム（Dependable Wireless Workshop 2016）について

通研国際シンポジウム（Dependable Wireless Workshop 2016）について、配付資料により報告があった。

(7) 次回の開催について

平成28年12月13日(火) 14時から開催することとした。

以 上